

2006 年度

科目名 創作ⅡB	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 佐藤 愛弓
授業テーマ はじめての短歌		
授業の概要と目標 私たちは日々いろいろなことを、感じたり、考えたりしている。書かなければ自分でも忘れてしまうような日々の思いを、携帯電話などを使って短歌にする、若い人たちが増えている。短歌は、三十一文字で気持ちを表現するという文芸であり、字数以外にはルールはない。この授業では、短歌を使って自分の気持ちを自由に表現することを習得する。		
評価方法 出席と授業中に課する短歌や感想文を総合的に評価する。		
テキスト 指定なし	著者	出版社
参考書 指定なし	著者	出版社
授業スケジュール・内容 毎回前半は、10代、20代の歌人の作品を中心に、良い短歌、面白い短歌を紹介して、解説する。 例 あなたへの手紙を書いて引き出しにしまってそのまま忘れるつもり（加藤千恵『たぶん絶対』） いつどこで誰といたってあたしだけ2センチくらい浮いてる気がする（加藤千恵『ハッピーアイスクリーム』） ひらがなの多いあなたのメールにはさんきゅとか書いてありきゅんとくる（佐藤真由美『きっと恋のせい』） この煙草あくまであなたが吸ったのねそのとき口紅つけていたのね（佐藤真由美『プライベート』） 後半は、それぞれが作ってきた短歌を無記名でプリントにして読み、鑑賞しあう。 （数回に一回それぞれが自分の好きな短歌を選んで感想文を書く）		